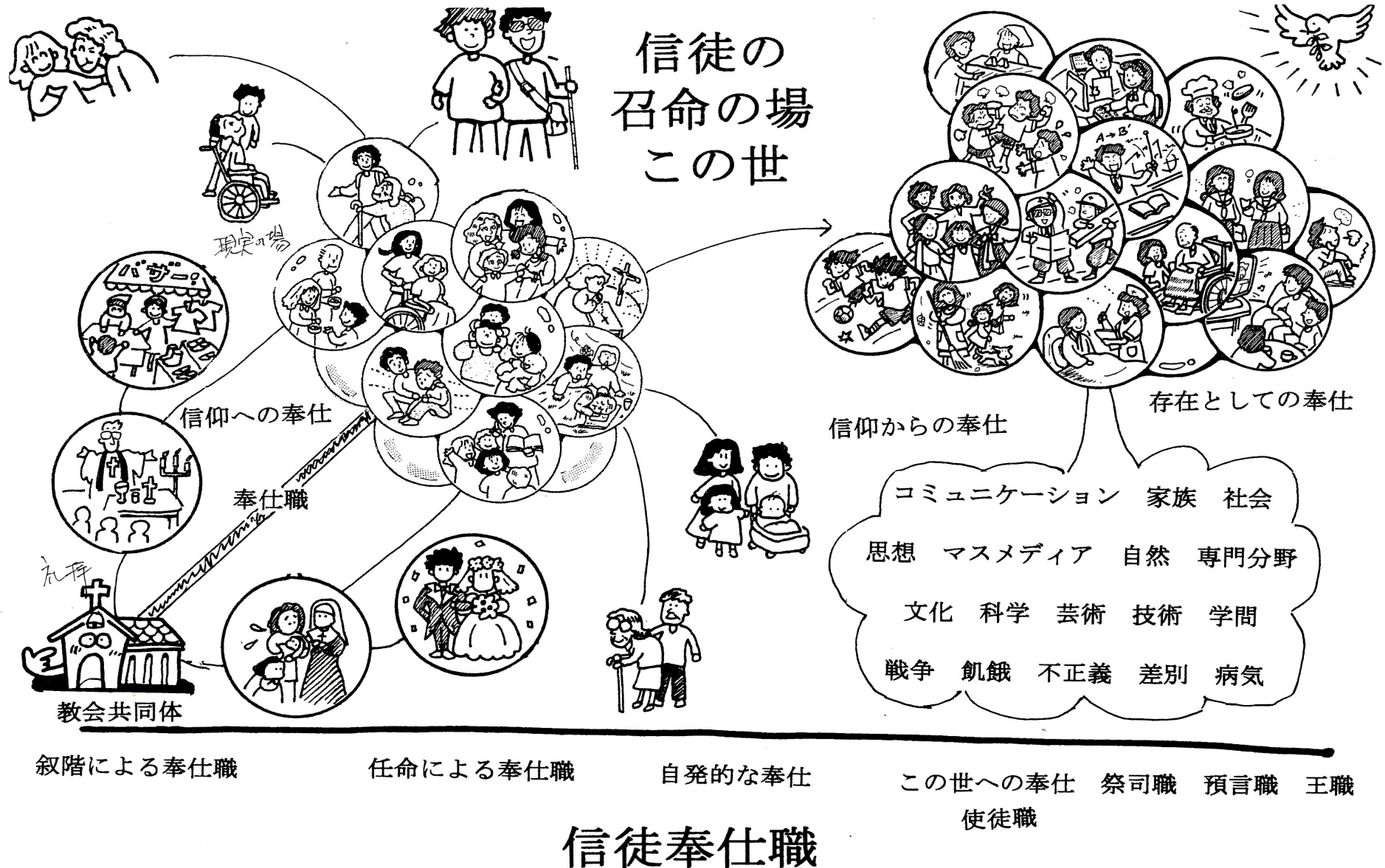


2009年度の課題



初めの祈り

司 神よ わたしを力づけ

一同 急いで助けに来て下さい。

司 栄光は父と子と聖霊に。

一同 初めのように 今も いつも
世々に。 アーメン

教区の方針を基本に奉仕職・・・

I 「教区養成部門基本計画」08年9月に基づく

II 大司教の年頭の挨拶

III 北摂地区養成講座の実りを生かすために

病人・高齢者への聖体奉仕者の派遣

IV 祈りの基本（「教会の祈り」を学ぶ）

- 評議会、地区の集いで実践する。
- 日曜日のミサの前に
詩篇唱和の祈りを導入する。

I 教区養成部門基本計画

- 池長大司教の教区新生の日メッセージ

2008年 信徒奉仕職

①入門講座担当者

②病者訪問奉仕者

③集会祭儀司式者

皆で知恵と努力を傾けて教会共同体を作る

2009年 キリスト者としての成長と成熟

イエス・キリストに根ざす活動・・・

大阪大司教新生のメッセージ

- 2009年 キリスト者の成長と成熟

現代社会において私たちは人々に福音を証する力に満ちた共同体にならない。

ぶどうの木にとどまる。(ヨハネ15章1～8節)

み言葉であるイエスに日々自分の存在をとどまらせること

★ キリスト者の生活の基盤に福音の理解が大切で、このための学習と黙想を深める研修や勉強や祈り会に参加することを勧めます。

奉仕職への取り組み

オリエンテーション

・新しい仕組みの中で

1

・ 教区養成部門基本計画

・ 大阪教区における養成についてのお知らせ 9月1日

2

・ 北摂地区宣教評議会

・ 養成チーム（仮称）＝専門委員会

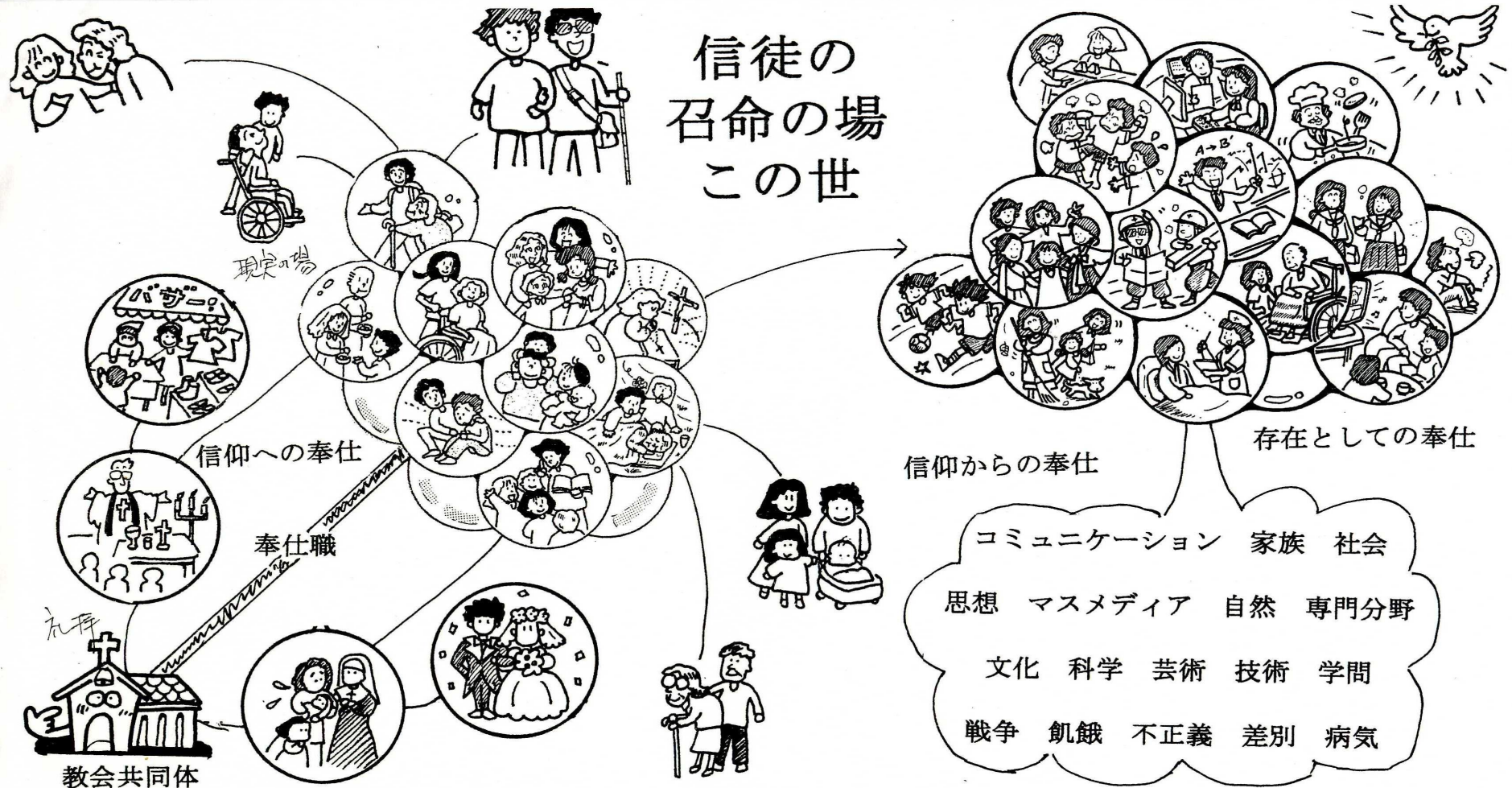
3

・ 各小教区 ー任命・実施ー

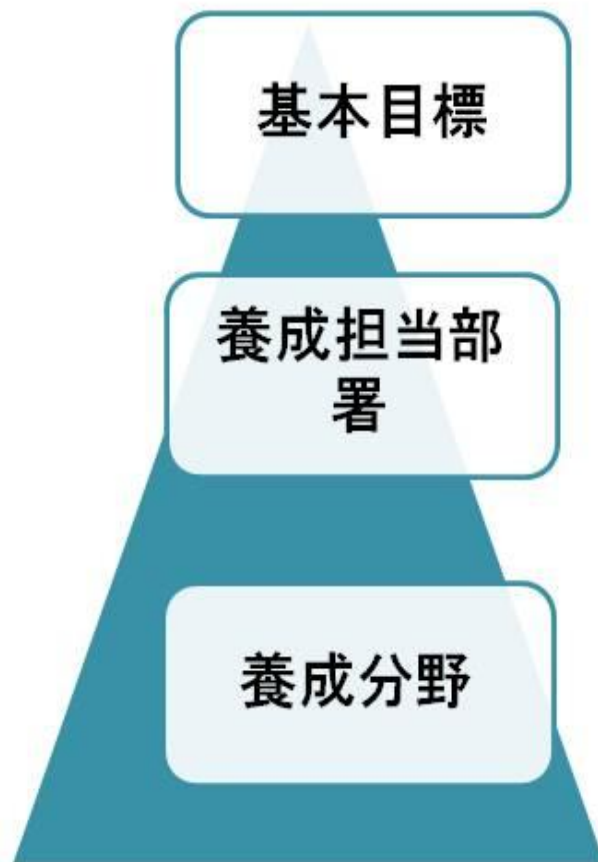
・ 小共同体担当者の養成（集会祭儀）

奉仕職の形

信徒の
召命の場
この世



信徒奉仕職



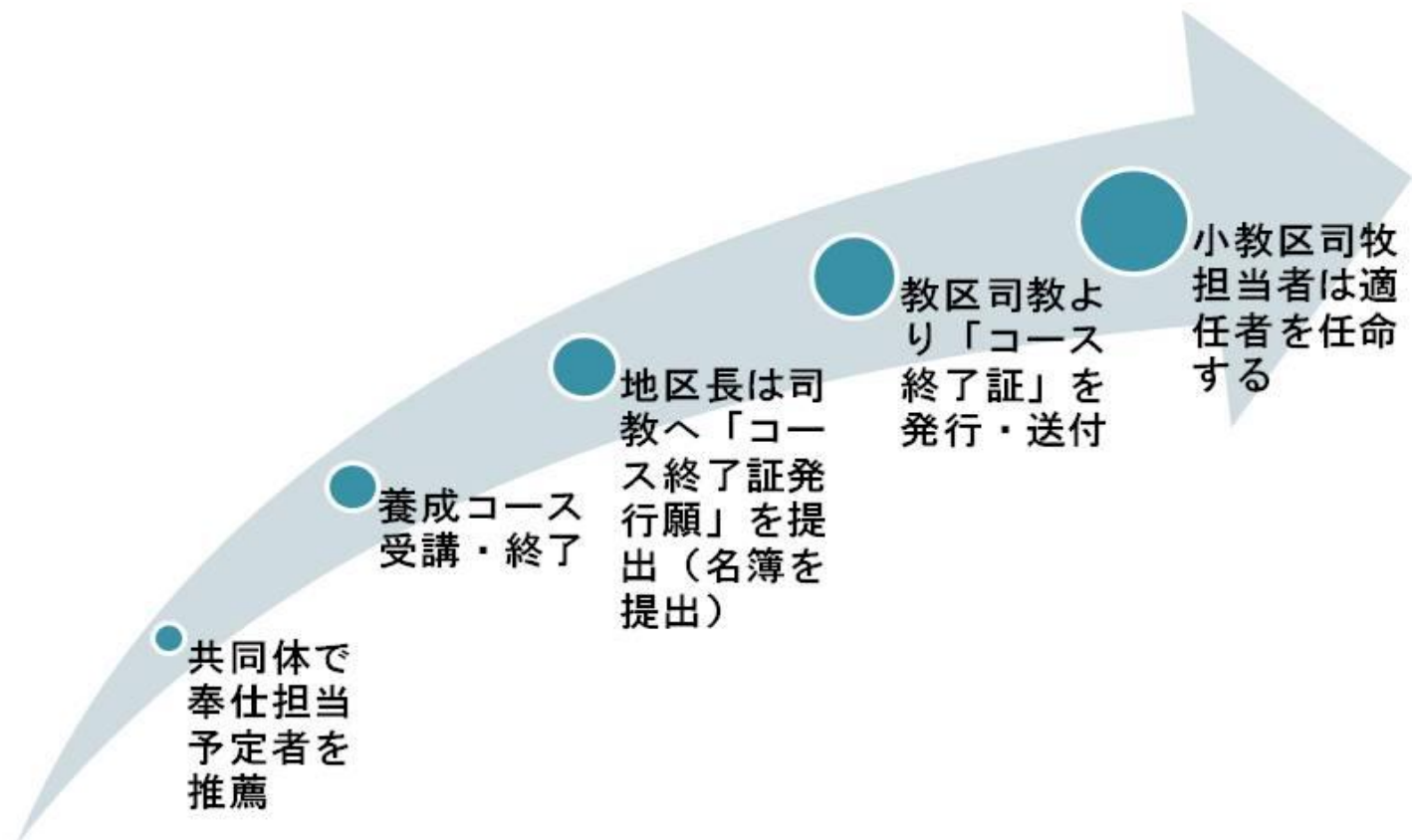
★養成の基本目標を、「新生の明日を求めて」で示された教会像（5つの教会像）の実現におく。そのため**信仰共同体の育成に取り組む**。信仰を個人の観点より共同体の観点からとらえ、福音的リーダーシップのもとで共同責任を担う協働性を備えた共同体を作る。（補足説明）信徒奉仕職の推進は司祭不足を補うための方策と受け取られているが、司祭・修道者・信徒が、それぞれの役割は異なっても協働し責任を担いあう共同体育成が目的である。

★養成の基本的な役割は、**地区（宣教評議会）**が担う。カトリック時報（3月号）－資料2－「新しい仕組み」8地区の宣教司牧共同体が主体・・・養成コースの実施、養成プログラムの作成（司教の認可必要）＝作成チームの編成、講座終了認定（司教）、許可、任命などの事務担当は教区事務局企画広報課 プログラムの例：**（教区1997年版集会祭儀司式者養成＝信徒奉仕職の基礎コース5回分）＋聖体コース（3回）＝聖体奉仕者**

★養成分野

- a. **小共同体担当者**（集会祭儀司式者養成の展開）
信徒のグループや地区集会の進行を務める。
祈り・み言葉のリーダー
- b. 小教区評議員
- c. 集会祭儀司式者（主日以外に、aの役割を担う）
- d. 病者訪問担当者
- e. 入門講座・要理担当者、 f. 通夜・追悼式司式者
- g. 結婚講座担当者、 h. 教会学校担当者

奉仕職担当までの手順



奉仕者の任命を生かす

- 奉仕職養成講座（修了書 ⇒ 任命）

集会祭儀司式者の養成

聖体奉仕者の病人訪問

* 日曜日のミサに与れない家族の病人に聖体授与が委任されていました。これは大阪教区だけ認可されているものです。現在あいまいになっている。

特別聖体奉仕者の派遣

- 地区の高齢者・病人への派遣
- ミサの特別聖体奉仕（聖体を配り、御血の拝領の補助）
- 集会祭儀の司式（教会の祈りの先唱）

地区集会や評議会、あるいはミサの準備に
教会の祈りの詩篇唱和を唱える（歌う）。

「教会の祈り」による式次第（教区試用版）

高校生・大学生・青年

- 堅信講座で気がついたことは、いままで祈りの指導を受けていないことです。
- 従って、
みことばの朗読と暗記（祈りの土台）
みことばに留まり、味わうこと
賛美すること・感謝すること
生活の中に神の働きをみる気づきの訓練

賛美の合奏（詩篇150）

- わたしたちの教会が信仰共同体として世にむかってさまざまな神の国のあかしができるように願っています。
- 栄光は 教会とキリスト・イエスのうちにあつて、世々、とこしえに。 ▲アーメン（エフェソ3・21）

先唱

すべてを越える神をたたえよ アレルヤ

聖所におられる神をたたえよ。

大空にみなぎる神のちからをたたえよ。

そのわざは偉大。 神をたたえよ。

すべてを越える神をたたえよ。

角笛を吹いて神をたたえよ。

琴を弾き、たて琴をかなでて神をたたえよ。

鼓と舞を合わせて神をたたえよ。

弦をかなで、笛を吹いて神をたたえよ。

高鳴るシンバルで神をたたえよ。

鳴り響くシンバルで神をたたえよ。

いのちある すべてのものは
神をたたえよ。

栄光は父と子と聖霊に

初めのように 今も いつも 世々に

アーメン